

施策番号	1701		
施策名	市民の健康づくり活動の推進		
概要	すべての市民が、生涯を通じて運動、栄養、休養、禁煙、口腔ケアといった心身の健康づくりに取り組むため、行政と保健医療関係機関、地域、企業が連携して環境整備を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	障害保健福祉推進室
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関係する主な分野別計画等	健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン， 京都市口腔保健推進実施計画，健康長寿のまち・京都食育推進プラン， きょう いのち ほっとプランー京都市自殺総合対策推進計画ー（改定）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	a	a	53.5	52.0	52.8	98.5%	a	1.00
2	自殺による死亡者数(人)	a	a	203	201	215	106.5%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。	b	b	53	273	240	55	25	646
				8.2%	42.3%	37.2%	8.5%	3.9%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 健康づくりの推進に当たっては、市民一人一人の意識を高める必要があるため、市民生活実感調査を重視する。						平成30年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						平成29年度	B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	保健事業(国保会計)	1,170,614	1,242,367	良い	保健福祉局
2	後期高齢者健康診査	415,121	499,204	良い	保健福祉局
3	はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業	11,964	13,096	普通	保健福祉局
4	後期高齢者歯科健康診査	19,153	19,750	かなり悪い	保健福祉局
5	健康長寿・笑顔のまち・京都推進プランの推進事業	7,359	9,690	良い	保健福祉局
6	造血幹細胞移植推進事業	7,162	8,778	かなり良い	保健福祉局
7	健康づくりサポート事業	213,429	215,167	良い	保健福祉局
8	生活保護受給者等健康診査	13,424	11,156	良い	保健福祉局
9	がん対策	509,627	584,810	普通	保健福祉局
10	高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座	12,263	12,430	良い	保健福祉局
11	高齢者筋力トレーニング普及推進事業	30,416	32,867	良い	保健福祉局
12	地域献血会事業	16,574	16,574	良い	保健福祉局
13	家族介護者向け医療的ケア・口腔ケアの実践研修事業	5,043	5,378	かなり良い	保健福祉局
14	熱中症予防啓発事業	25,268	25,745	普通	保健福祉局
15	食育推進事業	195,132	190,542	良い	保健福祉局
16	健康診査事業	32,098	32,424	普通	保健福祉局
17	介護予防普及推進事業	17,770	18,876	良い	保健福祉局
18	お口の健康サポート事業	54,739	60,224	良い	保健福祉局
19	医師会・歯科医師会健康づくり事業補助金	21,715	21,791	良い	保健福祉局
20	生涯を通じた歯の健康づくり	50,316	0	普通	保健福祉局
21	健康長寿のまち・京都推進プロジェクト	65,966	70,079	良い	保健福祉局
22	歯ッピー・スマイル推進事業	0	61,891	—	保健福祉局
23	乳がん検診マンモグラフィ検診車更新	86,066	0	—	保健福祉局
24	難病対策総合推進事業	72,254	73,317	普通	保健福祉局
25	難病対策総合推進事業(センター事業)	35,597	35,256	普通	保健福祉局
26	お風呂屋さん再発見事業	3,315	0	良い	保健福祉局
27	鉱泉源保護設備補修等補助金交付事業	6,029	7,318	良い	保健福祉局
28	環境衛生対策補助金	15,154	15,180	普通	保健福祉局
29	京都市ラクト健康・文化館	13,393	12,419	—	建設局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・114の団体・関係機関が参画する「健康長寿のまち・京都市民会議」を中心に、「いきいきポイント」や「いきいきアプリ」、平成30年度に創設した表彰制度「いきいきアワード」などの取組を通じ、京都ならではの地域力・文化力の強みをいかした健康づくりを市民ぐるみで推進して健康寿命を延伸し、平均寿命へ近づけ、笑顔でいきいきと健やかな「健康長寿のまち・京都」の実現を目指す。

・市民の健康に関するデータから地域の課題を分析し、保健師をはじめとする保健福祉センターの職員が、より積極的に地域に出向き、市民に身近な地域で地域特性に応じた健康づくりを推進する。

施策名	1701	市民の健康づくり活動の推進
-----	------	---------------

指標名	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）
-----	---

担当課	健康長寿企画課	連絡先	2 2 2 - 3 4 1 9
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合

2 指標の意味

生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成28年度	平成29年度		数値	根拠	達成度
数値	53.5	52.0	1.5ポイント減	52.8	中長期目標を達成するために当該年度達成すべき数値	98.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		52.8	平成29年度	98.5%	京都市民健康づくりプラン(第2次)に基づく目標値

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a: 90%以上
b: 85%以上～90%未満
c: 80%以上～85%未満
d: 75%以上～80%未満
e: 75%未満

6 基準説明

当該指標については、市民一人ひとりの健康づくりの取組による影響が大きいことから、目標達成度90%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（平成24年度47.8%、平成25年度48.8%、平成26年度49.8%、平成27年度50.8%、平成28年度51.8%、平成29年度52.8%）

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a

指標名	自殺による死亡者数（人）
-----	--------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

当該年度京都市における自殺による死亡者数

2 指標の意味

市民のこころの健康状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における年間自殺者数（1月～12月の年間統計値）
出典：厚生労働省人口動態統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	203	201	2名減	215	令和3年度に200人以下とするために当該年度達成すべき数値	106.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		200以下	令和3年度	99.5%	京都市自殺総合対策推進計画（改定）

5 評価基準

最新数値が、
a: 目標値以下
前回数値と比較して
b: 10人以上の減少
c: 変わらず（±10人未満の増減）
d: 10人以上20人未満の増加
e: 20人以上の増加

6 基準説明

当該指標については、様々な社会的要因による影響が大きいため、目標値以下をaとし、以下、前年度との比較で5人刻みで基準を設定した。（平成28年度225人、平成29年度220人、平成30年度215人、令和元年度210人、令和2年度200人）

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a